

市政に 対する 一般質問

〓〓10名の議員が質問〓〓

2月定例会の一般質問は、3月7日・8日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

菊地 忠久 平成30年度施政方針について

佐久間儀郎 平成30年度施政方針について

菅野 恭子 自治体SDGs[※]の取り組みについて

保科善一郎 「農商工連携を核とした賑わい交流拠点施設」整備について

伊藤 勝美 平成30年度施政方針と予算について

四竈 英夫 平成30年度施政方針について

沼倉 啓介 本市の財政について

佐藤 龍彦 35人以下学級の休止について

佐藤 秀行 地域活性化事業について

松野 久郎 平成30年度施政方針について

他

他

他

他

他

他

他

平成30年度施政方針について

菊地 忠久



〔質問〕スポーツを通じた交流人口の拡大とあるが、大きな大会等を行うのか。

〔答弁〕〔市長〕新体操競技国体予選、ベラルーシ新体操ナショナルチーム事前合宿・公開演技披露会、東北総体バスケット競技、東日本国公立大学室内水泳公認記録会などが開催予定である。

大きな大会の開催はスポーツ振興が大きな目的ではあるが、選手等の宿泊や飲食など地域経済活性化に対して効果がある。今後規模の大きな大会招致に努めたい。

〔質問〕インバウンド推進について、これま

での成果を伺う。

〔答弁〕〔市長〕東北観光復興対策交付金が創設され、蔵王連峰・国道113号を軸とした広域観光の推進に取り組んだ。

インバウンドの中で大きな割合を占める台湾からの観光客への売り込みや台湾の旅行ブローカーの体験ツアーを開催し、SNSを活用したPRを行なっている。

昨年8月から2月末まで、白石城での甲冑試着体験は4千391人中916人が外国人観光客であった。今後も隣接市町などと連携強化を図り事業を推進したい。

〔質問〕台湾では教育旅行(修学旅行)先に日本を選ぶ学校が増えている。本市でも積極的に誘致すべきと

考えるが、所見を伺う。

〔答弁〕〔市長〕台湾での旅行プロモーションに参加した際「教育旅行先として日本を希望する学校が非常に多く、旅行先の学校との交流と合わせて実施できないか」との相談を受けた。

1月には台湾の文部科学省にあたる機関から視察においていただいております。誘致を積極的に進めていきたいと考えています。

◎ふるさと名物応援宣言について

〔質問〕地域ブランド化推進のため「ふるさと名物応援宣言」を行うべきと考えるが、所見を伺う。

〔答弁〕〔市長〕応援宣言は行うべきと考えられる。より効果的な経済波及効果につながる宣言となるよう前向きに進めたい。

◎その他の質問

◎水道事業について

◎さらなる歳入の確保について